

# ふるさとの 育む人

#09 「シンビジウム」

育む人 佐藤 善仁<sup>よしひと</sup>さん

横手市十文字地区・33歳。農業歴13年。  
シンビジウム985坪(ハウス)、菊(露地)45a、水稻1.8haを経営。



## 優美な色彩が人気の『シンビジウム』

冬の厳しい寒さが増すこの時期、十文字町地区の佐藤善仁さんは、毎日ビニールハウスに足を運びます。中では1メートルを超える背丈に生長した色とりどりの「シンビジウム」が咲き誇っています。ダイナミックなそのたたずまいと優美な色彩が魅力の「シンビジウム」。花の寿命が長く、管理次第では3カ月以上も鑑賞できるため、クリスマスやお歳暮などの贈答用にも人気が高まっています。現在、善仁さんは、家族とともに約1万鉢もの数を手掛けています。



## 3年という長い年月を経て開花



株の養成に多くの時間を必要とするシンビジウムは、新たな株を導入してから花を咲かせて出荷するまでには、3年という長い栽培期間が必要です。それでも、「雪の多いこの地域でも栽培できるのがシンビジウムのいいところ」と、笑顔を見せる善仁さん。無事に花を咲かせるまでは気の抜けない作業が続きますが、同じくシンビジウムを栽培する周囲の先輩農家と協力しながら、一株一株大切に育てています。

## 地域の“豊かさ”を“形”に

現在、約30種類ものシンビジウムを栽培している善仁さん。「天候に左右される半面、地域の“豊かさ”を“形”にできるのが農業。その素晴らしさを多くの人に伝えるためにも、品質の良い花を作り続けたい」と、力強く語ります。これから続く長い冬期間——。善仁さんが育てたシンビジウムは、さまざまな場所で多くの人々の目を楽しませてくれることでしょう。



冬期間もシンビジウムを楽しもう！

## 『シンビジウムを長持ちさせる方法』

適温は5℃～15℃。最適な置き場所は玄関や廊下で、湿気が多いと長持ちしません。リビング内では、暖房が直接当たらない窓際(出窓)などに置き、こまめに霧吹きで水を与えましょう。また、鉢底に水がたまり根腐れの原因となるので、ラッピングしたものは底に排水口を開けます。なお、受け皿に置く場合は、根の通気を良くするため、炭を敷いてその上に置くことをおすすめします。

## 【JAからのお知らせ】

先月号同頁掲載の当JA食農教育イベント「クッキングフェスタ」(11月19日開催)において行われた「おにぎりコンテスト」の受賞作品を、1月より以下の店舗で販売いたします。ぜひお立ち寄りください！

- JA秋田ふるさと直売の会「安心畑」イオン横手南店
- JA秋田ふるさと平鹿総合病院売店(平鹿病院内ローソン様となり)